

小さな こえで いいましよう

なまえ)

(

あたまの 中で ひとりごと している かいわぶんです。
小さな こえで そつと、つぶやいて よみましよう。

(1) 「おかあさん、いまごろ、どうして いるかなあ。」

(2) 「わたしも あんな すてきな
おにんぎょうさんが ほしいなあ。」

(3) 「おや、あそこに へんなものが おちているぞ。
なんだろう。あれは？」

(4) 「のどが、かわいたなあ。
つめたい みずが のみたいなあ。」

(5) 「ははあん、そうか。
やっぱり こうすれば よかったんだ。」

(6) 「そらを すいすい、とんでいけたらなあ。
つばめさんは いいなあ。うらやましいなあ。」

(7) 「いったい、だれが ここに らくがきを したのだろう。
わるいやつが いるものだなあ。」

(8) 「ああ、つまんないな。 いっしょに
あそべるひと、だれか、 いないかなあ。」

(9) 「やーね、あの子、なにを やってるの かしら。
家の 中を じいっと のぞいて いるわよ。」

(10) あめは やみそうもないなあ。ぬれて いくと するか。」

